

郷音 流

HIBIKI

高田教区報

高田教区 教化テーマ

私はどこで生きているのか
～たずねよう 真宗の教えに～

2022年3月28日 第154号



画題「居多ヶ浜の海」

武田一郎（上越市北城町4）

秋の夕暮れ、親鸞上陸の地で出会った人達と、厳しい冬を前に東の間の穏やかな海の波を「切り絵」で表現しました。よせては返す波の動きに、海にも心が宿っていると感じています。



高田教区

検索

発行所 真宗大谷派（東本願寺）高田教務所
上越市寺町2-24-4 ☎025-524-3913
<http://www.takada-kyoku.jp>

発行 橘 秀憲

印刷 永田印刷株式会社

波の形が
一つひとつ
違ふように
人音も
違ふように

東山征子書

（上越市）

珠数つなぎ法話

次回 水嶋

今回 豊島

第5回 井上

第4回 比後

第3回 渡邊

第2回 藤島

第1回 金子

第6回 ただ念仏すべしという教え

第6組 西光寺 豊島 信

リレー方式の珠数つなぎで法話をいただくコーナーです。

ただ念仏すべしという教えは、声に出して念仏をするという至極シンプルな教えです。これほど簡単でわかりやすい教えは他に類を見ませんが、これほど誰もが納得できずに信じ難い教えはないのでしょうか。このシンプルな教えに対して私たちは、ただ念仏すればいいというものではない、内実が伴わなければならぬ、信仰心のない念仏は空念仏だと、こういう発想になるのではないかと思えます。かくいう私自身も長い間そのように考えていましたが、実はそれは信仰心に序列をつける差別心以外の何ものでもありませんでした。

親鸞聖人の師である法然上人が亡くなる直前に弟子に宛てて書かれたといわれている『一枚起請文』という一枚の紙には、念仏を信ぜん人は、たとい一代の法を能く能く学すとも、一文不知の愚どんの身になして、尼入道の無ちのともがらに同して、ちしやのふるまいをせずして、只一こうに念仏すべし。(聖典962頁)

現代語訳…念仏を信ずる者は、たとえ釈尊が説いた教法を詳しく学んだとしても文字ひとつ知らない無学、無智の身になって在俗の男女と共に、智者の振る舞いをせず、ただ一筋に念仏を申すことです。(訳…筆者)

と書かれています。これは信仰心の浅深や念仏に対しての理解度など、心の中のことを問題にしているのではないでしょう。自分の知識や能力をひけらかさずに高みに立つことなく、ただ念仏して等しくすべての人を尊敬しなさいということです。究極的に平易に簡素にした「行為」を共有し、最優先して個々の心の在り様、状態を問題にしないということです。

しかし、善悪や優劣でしかものごとを量れない差別心を持つた私たちは、すべての人を等しく尊敬することなどできません。私たちは人間の差別心があらゆる争いや悲しみを生み出し、筆舌に尽くし難いほどの恐怖と苦しみを与えてきたことは言うまでもありません。できないからこそ生きていく上で最も重要な理念として掲げなければならぬのです。いつでもどこでも忘れないように、誰にでもできる旗印としての称名念仏です。念仏を申して生きるということは、他者を敬い、認め、許すことができる私たちが、他者を敬い、認め、許すことを旗印に掲げて生きていくということです。それには知識や能力など必要ありません。

次回は第1組 光徳寺 水嶋 聡さんです。

今から聞けない

知りたいこと

⑥

答

町田閻魔堂のご紹介に寄せて

第12組 西願寺 幽溪英夫

昨年12月に12組通信で西願寺境内にあります町田閻魔堂のご紹介をさせて頂きました。その御縁と思いますが質問についての作文を求められました。私には大変な難題です。ちょうど私にも近くに住む4

歳と、6歳の孫がいます。孫は普段から身近に閻魔さんを見ているのですが怖がる時と怖がらない時があります。私も思い起すとそうでした。幼い頃、閻魔堂に閉じ込められた事があります。怖さから、もうしません。と泣いて出してもらった記憶があります。でも、普段は、閻魔堂の中で遊んでいました。

可愛い可愛い孫ではありますが、私 爺も怒る時があります。悪さをする時、時には閻魔さんの所に連れて行くよと言ってしまいます。そうした時は、閻魔様を怖がり言う事を聞いてくれるようです。でも、普段は閻魔様がお堂の中からこちらをじっと見ているが怖がりません。閻魔さんをじっと観察し絵を描いてくれる事もあります。

閻魔様が私達を見てくださっている。悪いことをしたら叱られる。幼心に良し悪しを、閻魔様を通して感じてるように思います。

お孫さんに答えるとしたら、「閻魔さんはいるか

も知れないね、天国も地獄もあるかも知れないね、誰か見てくれる人がいないと爺も悪い子になっちゃおうよ」と答えたい。

今、私達は自分の目で見えるものだけしか信じられなくなっているように思います。漫画やアニメなどは目で見て楽しませてくれます。また、教えられる事もあります。

ただ、現実の世界においては困るものもあります。悪いことをしたら、閻魔様が見ているよ、地獄に落ちるよ、でも、悲しい事も、うれしい事も、困っている事もみんな閻魔様が見ているよ。いっしょになって考えてくれるよ。お母さんもお父さんもそうだよ。そうした心がお子様にならばと思います。今、私達の生活の中で、宗教を身近に感じる事が少なくなっています。親や祖父母から聞いている事を伝える。ご質問された方も母親から言われた事をお孫さんに伝えられています。それが答えではないでしょうか。

問

6歳の孫と湯船で向かい合っていると、
「お爺ちゃん閻魔さんはいるの？」
の？」

『天国』『地獄』はあるの？
と、真剣なまなざしで質問して来ました。

私が子供の頃、五智国分寺本堂脇にあった閻魔さんを見て、怖くなり母親に質問した時に言われた事を伝えると、うなずいていました。

近年の子供は、漫画・アニメなどからの影響により、爺の答えでは納得しません。

どのように答えたらよいのか教えてください。





テラスさんに聞きたいことがあったら、手紙やメールを送ってください。お待ちしております。

2021年12月25日に開催された「別院寺子屋書道の巻」にお邪魔しました。

ココロテラス



青少年連絡協議会主催の「べついでん寺子屋書道の巻」は毎回満員盛況の人気です。そこには子どもたちを温かく見守る目、そっと寄り添い語り合う優しい声、安全に楽しく遊べるよう入念な下準備をする手…子どもたちのココロをテラス、様々なスタッフの姿がありました。企画内容もさることながら別院で出会えるお坊さんたちの魅力も人気の秘密なのでしょう。



拜啓

通信員より

ねほりはほり

第1組 光照寺 梅澤 謙吾

先日、書店で5冊の紙の本、帰宅後、2冊の電子書籍を購入しました。翌日、別途購入していた4冊の本が届きました。そいつらには目もくれず、いま読んでいるのはだいぶ前に購入したものです。どうすればいいのでしょうか。

第2組 常圓寺 鈴井 祐恭

雪が降ったおかげで気づくことですが、梵鐘を撞く時に本堂の前に立ち止まった足跡があります。新聞配達員さんが、配達時に本堂に向かいお参りをしてくださった足跡です。寒い朝ですが、私より一足早くお参りしてくださったこの足跡に心を温めてもらっています。

第3組 正光寺 高橋 良暁

12月31日、自坊で除夜の鐘撞会を行いました。吹雪の中、寒さとコロナ禍にも関わらず、お寺に足を運んでいただき有り難く思います。また、今年はいつもと違い、小3の息子が「今年はやらないで鐘撞をしたい」と言い、はじめて参加しました。静まり返った夜空に鐘の音が響き渡りました。とても寒かったですが、少し嬉しい気持ちになりました。

第4組 養性寺 内山 真明

・四組はとくに公開講座等の予定はありません。
10月29日に勤まりました、組お待ち受け講座にて数名の門徒さんから「響流で各組のお待ち受けの様子を特集してもらえないか。それが、高田教区の門徒全体が慶讃法要と向き合うきっかけになるんじゃないのか」との意見をいただきました。ので、編集に報告させていただきました。皆さんのところではどんなお話が聞けたでしょうか？

第5組 聴信寺 居多 啓

ともすれば変わり映えのない日々を嘆くこともありますが、変わらぬ日々を送れるということがどれだけ尊いことか。

第6組 福成寺 鎮西 広円

冬場は組での活動はありません。年末年始の人間の移動があり、高田教区の周りもコロナウイルスの感染者が増えています。とても人と人の接触を拒んでしまっている私自身であります。しかしながら、物理的な接触を控えたとしても心の距離を離すのはもちろん間違っているでしょう。そういった意味ではよりどころとしてある寺院のあり方を考えていくのが私たちに課せられた使命なのだと感じています。

第7組 願生寺 平出 文勇

去る3月6日(日)高田別院会館にて真宗終活講座が行われた。全4回の講座で昨年8月から始まり最後となる今回は、春のお待ち受け大会で帰敬式を受式される方も交え、100名を超す大勢の参加となった。先に受式された方のきっかけや、その後の生活について体験談を4名より発表。うち2名が7組の御門徒だった。皆さん大切な方を死をきっかけに、仏縁を深めておられる事を聞き、それぞれが前向きに、プラスに捉えておられる姿が、とても感動的であった。

第8組 明岸寺 法隆 光昭

数年前、八組門徒会の聞法会で、ある人「念仏するとどうなるのか」返答「何もならない」
念仏申すと首が飛ぶ。彈圧上等。村田静照和尚が、人に念仏を勧めて「念仏したら食えんか？なら死んだらどうですか？」と。生命財産よりも念仏が尊い。(ああ怖い、ナマンダブ)

第11組 光圓寺 竹内 淳一

浄土論で観仏本願力：観彼世界相…と嘆ぜられますが、アマタ浄仏土にかかる願文への一つの願きでありましょう。仏菩薩の観とは、事実なのか、観念やイメージネーションに過ぎないのか、理想論に終わるのか、身の事実を気づかせ、生まれ変わらせ、幸ある世界をもたらさんと具体策を煮詰めるにまで至るのか。何によりてか西にあると問われまますなら、仏と共に自己と人民の為に、ということでしょう。縁起無自性空義及び曠劫来流転のお覚りに無執着のお論しに囚われの境涯のままに愈々、人間を喜び友を好む大慈大悲に呼び覚まされる私が見つかった。開発！

第12組 善立寺 山越 英隆

先日、リモートで檀払いをさせて頂いた。自坊にいながら、遠方の檀を払う。先方の都合やコロナウイルスの感染状況、そして、私自身の体調などもあったのことだった。まさか、私がこんな仏事をすることになるとは、と、戸惑いながらもお参りであった。新潟の田舎で暮らしていても、時代の流れはいやおうなしに私たちを呑み込んでいくようである。

第13組 福浄寺 井上 立英

昨年の冬の記憶を残したままこの冬を迎えましたが、今年は除雪に苦労することもなく春の気配がしてまいました。
春を待つ心と共に新型コロナウイルスの蔓延が落ち着き、聞法の場に出遇えることを願うばかりです。



そうだ

お寺に行こう

真宗大谷派高田教区寺院探訪③

親不知より外波集落方面を眺望



『天下の険 親不知』の極楽浄土

飛龍山 大雲寺

親不知遠望

波しぶきがあがる『投げ岩』

その昔、地元の鬼と出雲の大国主命が大岩を投げて力くらべをした伝説。鬼の岩は波打ち際に落ち、大国主命の岩は海まで飛んで2つに割れ、この「投げ岩」となったという。



如砥如矢 (とのごとくやのごとし)



主要道の集まる外波集落



日本初の海上高速道路 (第4世代の道)



懐かしさを感じる佇まい



編集長記

境内はすぐ海の近くなので取材中ずっと強風の音が聞こえていましたが、本堂は少しも揺れることがありませんでした。この環境に相応しい堅牢な造りなのでしょう。冬だけでなく夏も比較的風が強いそうですが、エアコンのクーラーはいらないとのこと。それよりも塩害が問題だとか。昨年の大雪は例外として毎年雪はそれほど積もらないそうですが、風のためにとっても寒くそこら中が凍っていました。

外波集落は親不知を越えた旅人が最初に入る宿場となる場所にあり、親不知の波地獄から抜け出した「波の外」だから「外波」と名付けられたのだろうと由来に思いを馳せます。

親鸞聖人はじめ、親不知を乗り越えてきた人たちにとってこの外波の集落は命懸けの難所が終わった証であり、やっと安堵することができ、この誰の極楽浄土であったのであろうことは、この誰もいない冬の荒波と強風の日本海を目の前にして寒さに凍えている現代人の私にも理解には困らない感覚でありました。この日、下越地方では波浪警報発令中。真冬の親不知・大雲寺パッキングツアーおススメです！

外波に坐する飛龍山大雲寺は『天下の険・親不知』を形成する要素の一つであり、また重要な存在であるという印象をうけました。



↓山号の飛龍は、荒波に龍が現れたことに由来する。↑大迫力！その飛竜の『柱またぎ：彫刻が柱をまたいでいる』の欄間



天保10年ころ、大波にこの石があらわれ里人がこぞって宗祖聖人石霊として尊敬してきた『御影石』



師弟三人を導いた「立ちすくみ如来」



大雲寺参道

『天下の険 親不知』

〈第1世代の道〉

北陸最大の難所『親不知』は北アルプス北端の断崖である。そこへ日本海の荒波が止めどなく押し寄せため、波が引いた僅かな合間を縫って通行しなければならなかった。そのため古来より旅人が命がけで通行する『天下の険』といわれてきた。

そして、親は子を、子は親をかえりみる余裕さえなかったことから「親不知・子不知」と呼ばれるようになったと伝えられる。

一説には、今から約800年前の源平盛衰の昔、越後の五百刈村へ移り住んだ、池大納言平頼盛（平清盛の異母弟）夫人が夫の後を追って、この地を通りかかった際、懐に抱えた二歳の愛児を荒波にさらわれ悲しみのあまりに詠んだ歌が由来ともいわれる。

親しらず 子はこの浦の波まくら
越路の磯のあわと消えゆく

〈第2世代の道〉

明治天皇御巡幸を契機に1883（明治16）年に東西日本を結ぶ日本海側の大動脈が完成。この工事は、断崖絶壁を縫って、すべて人力で行われた。

記念して親不知で最も通行が困難な「天下無双の難所」と呼ばれた断崖絶壁の大きな一枚岩に、「如砥如矢：砥石のように滑らかで矢のようにまっすぐである」と刻まれた。現在の市道天険親不知線

〈第3世代の道〉

車社会に対応して1966（昭和41）年に国道8号天険トンネル（延長734m）が完成

〈第4世代の道〉

1988（昭和63）年、日本初の海上高架橋、親不知インターチェンジを含む、北陸自動車道が完成

飛龍山大雲寺略縁起

開基は正五位下・前の若狭守右近大夫平宗輝・外波村の庄司神職。仔細あって大文字屋右近と称する。承元々年弥生中旬、宗祖聖人が流刑の宣旨を蒙り、師弟三人で越路の荒磯・親不知に差し掛かり大波小波が渦巻く中で立ち往生していた。そのとき、菅笠短蓑姿の一人の里人が忽然と現れた。聖人が道案内の助けを求めると里人は、自分はこの先の里に住む『立ちすくみ』と申すもので、貴僧がここを渡っていることを知って迎えにきた旨を述べ、難所を首尾よくお送りし姿を消してしまつた。師弟三人は不思議に思いながらも先を進むと程なく外波の里に入った。なかなか宿を借りられず大文字屋の庭の大石で腰を休め、弟子の西仏房が右近大夫に宿を頼みに行くと、右近大夫は、聖人のお顔を見るや否や、この方が凡人であるはずがないと直ちに宿を用意した。聖人は親不知で出会った里人のことを話すと右近が「私の妻の内仏の阿弥陀如来を、『立ちすくみ』と申します。」とお答えしつつ不思議に思い、ご安置仏を開き見ると、裾は潮に濡れ、下段に降りていた。この奇瑞に感じ右近大夫は聖人の弟子となり法名宗雲を賜る。そして終夜聖人の教えを賜り、翌日十字の名号を授かった。これより代々子孫に伝え崇敬して今日に至る。



飛龍山 大雲寺

高田教区 第1組
住職 宮原英治
〒949-0308
新潟県糸魚川市大字外波245
Tel.&Fax. 025-562-3030

門徒仏々ぶつづ 言いたい放題

⑥

本稿の連載が6回となる。多くの門徒の皆さんとご寺院の方々などの目に留まるだけで光栄なことと身の引き締まる思いだ。

本稿では「酒呑童子」とペンネームをつけた。吞兵衛だった往時を省みて、敢えて名前にした。更に古くから妖怪で名高い酒呑童子の伝説に興味があったからだ。一説には童子の生まれは、旧分水町で「酒呑童子屋敷跡」があり、酒呑童子伝説の看板が置いてある。郷土伝説研究者である小山直嗣氏が本に書いている。桓武天皇の皇子が越後へ下り、妻が戸隠山の九頭竜権現の祈願で子宝に恵まれ、誕生した男児を外道丸と名付けた。成長するにつれ乱暴者となり、国上寺に預けられた外道丸。

母の死を機にひたすら仏道に励む。稀なる美男子のため、近郷の女性たちから恋文が弥彦山のように届いた。外道丸にとって恋文は無用だった。ところが恋文を送った女性が、返事の来ないことを悲観し命を絶つてしまう。その仕儀を知らされた外道丸は、恋文の詰まる葛籠を開けた。忽ち葛籠から紫色の煙が立ち、外道丸の顔が鬼へと豹変した。日本の鬼退治は悪事がすっぽり抜ける。戦後高度経済成長期に映画『大江山酒呑童子』で長谷川一夫が演じた。六十年安保の時代を反映し、革命家として酒呑童子を描いた。コロナ禍で仏教への関心が薄いことを嘆く。感染拡大防止を最優先に、医学面だけを重視した政策だけで、苦しみ悩む人々を本当に救えると思っているのか。余りに短絡的すぎやしないか。一方、仏教に救いを求める人々も多い。日本仏教は、檀家制度により僧の生活を安定させた反面、本質的な自由な仏教を抑圧してきたといえるのではないか。

江戸期の円空・良寛は清貧にして芸術を生み出す高い精神性を追求していた。明治以降の廃物毀釈の時代にあっても、宗派仏教に拘らない無寺院仏教者である鈴木大拙や、宮沢賢治の仏性が滲む童話を輩出したのである。

荒々しいコロナ禍の収束の後に、やがて人は穏やかで、普遍的な世界を肯定する居場所を求めるであろう。その場所に仏教の存在があることを信じている。

現代においても、鬼退治のような正義の大合唱に偏らない、多様性のある社会を希求するものである。門徒仏々言いたい放題を捲し立てる。

酒呑童子 



愚僧のつぶやき

〈真宗の葬儀編⑭〉

次に杉盛華束すぎもりけそく一对と根菓餅こんかべい一对又は二対を供えます。杉盛華束の供笥は、銀又は木地を用い、方立ほどては銀地紺縁のものをを用います。根菓餅とは、山の物（栗や椎茸等）、海の物（海苔や昆布等）、里の物（湯葉や菓子等）を四角柱の各面に張り付けたものであります。別名「百味の御食」とも呼ばれ、神仏への供物として、一千年の歴史があるといわれています。

本願寺に於いて確認されますのは、本願寺第八代の蓮如上人の葬儀となります。当時は根菓餅という名称はなく、「けそく」といえば、餅の盛り物のことですが、その頃は盛り物を全て「けそく」と呼んでおり、それが後に餅以外の物を根菓餅と呼ぶ様になったようです。

本願寺に於ける根菓餅の数ですが、蓮如上人の時は十二基、本願寺が門跡寺院となった第十一代の顕如上人の時は四十八基、そして、十三代の宣如上人の時に百基となり、文字通り「百味の御食」となりました。その後、戦中の物資不足により、その数が減り、現在は二十基となっています。

又、根菓餅には銀の水引がつけられます。ご本山で用いられる根菓餅には、上中下三カ所に色々な結び方の水引がつけられています。私、この水引の結び方や約束事などを教えて頂きたいと思い、ご本山の根菓餅作りを伝承されている京菓子司の『末富』さんを訪ねました。そして、「祝儀袋や香典袋につけられている水引には、何度あってもいいものには、ほどけやすい蝶結び、葬儀や結婚など何度もあってほしくないものには、結び切りといった約束事がありますので、根菓

餅も結び切りにするのですか」と尋ねましたところ、「浄土真宗の葬儀とは、そういうものではないでしょう。人生を全うしたら、阿弥陀様のお用きによりお浄土へ還らせて頂き、仏様と成らせて頂くという尊い仏事ではないのですか。そんな縁起を担ぐ様な事はしませんので、どんな結び方でも構いません。第一、浄土真宗のお坊さんが、そんな事を言ってもらっては困ります。」と、お叱りを受けました。お恥ずかしい事ではありましたが、念仏相續なる仏事としての葬儀の心が、根菓餅の水引の中にもちゃんと伝承されている事を、大変嬉しく、有難く思ったことでもあります。

合掌 称六字

ペンネーム 維摩教信

教区改変に向けて

2023年7月発足に向けた教区改編に関する進捗報告については『かわら版』が発行されています。

「よりよい新潟教区づくり」のため、共に考えて、声を出していきましょう！

第1号 さんじょうたかだ 新教区準備委員会 かわら版 2021年8月発行

組織・教化・財務の3つの小委員会を設置しました

合意書の合意項目および地方協議会からの引継事項を協議するため、3つの小委員会を設置。新教区準備委員会委員が各小委員会に構成されたほか、小委員会の協議事項に応じて教区内の寺院に所属する僧侶・寺族・門徒の中から選定（条例第39条の3第1項第7号による委員）をいたしました。

組織小委員会

主な協議事項
1 旧教区規程の改正について
2 諸会議の組織・運営について
3 真宗学院（2学舎）の継続運営について
4 現高田教務所の呼称及び事務取扱について
5 業務計画に応じた輪番・教務所員の人員配置に関する宗務所との相談
6 別院に関する協議の場について
7 組の名称について

主 査：青木仁委員【三条教区】
副主査：五味川千秋委員【高田教区】
委 員：【三条教区】
関根正隆委員、松本雅裕委員
伊藤猛治委員、西野登委員
奥田富子委員
【高田教区】
尾崎秀行委員、楠田昌樹委員
内山順恵委員、田中栄一委員
村松哲夫委員

財務小委員会

主な協議事項
1 教区独自の門徒戸数調査について
2 御依頼・教区費等の割当基準について
3 旧教区における特別会計・積立金の扱いについて
4 各種教化助成金について
5 特別会計・積立金会計にかかる諸規則について
6 新教区における予算について

主 査：藤原哲委員【高田教区】
副主査：松尾正行委員【三条教区】
委 員：【三条教区】
山宮修憲委員、吉藤廣慶委員
関崎幸孝委員、江口信義委員
関矢隆委員
関崎勝彦委員（三三別院会計）
【高田教区】
渡邊蘭壽委員、岩崎修委員
長崎信子委員、岸波敏夫委員
阿部利秀委員
桃井正尊委員（新井別院責任役員）

教化小委員会

主な協議事項
1 新教区における各組織（教区・組・連組・寺院）の役割について
2 各教化事業の具体的な実施形態について（既存事業の現状ヒアリング）
3 合意内容に基づいた教化体制の具体化について（教化委員選出方法を含む）
4 都市教化の可能性について
5 各関係団体の運営方法について
6 教学研修機関の運営方法について

主 査：北條頼宗委員【高田教区】
副主査：田伏研二委員【三条教区】
委 員：【三条教区】 堀川秀道委員、北島栄誠委員、石川満委員、佐藤寛委員、澤辰雄委員
池田陽委員（企画委員長）、佐々木忠一郎委員（企画副委員長）
【高田教区】 関英隆委員、森恵成委員、井上一英委員、平野宏委員、松井俊一委員、
酒井敏子委員、藤島直委員（教化本部長）、遊野康賢委員（教化副本部長）

教区改編に関するご意見をお聞かせください。
ぜひ、皆さんの声を新教区準備委員会にお届けください。
※ご意見はFAX・メールの他、QRコードをスマホのカメラで読み取りお寄せください→

三条教務所：三条市本町2丁目1-57
TEL：0256-33-2805 FAX：0256-33-2847 mail：sanjo@higashihonganjori.jp
高田教務所：上越市寺町2丁目24-4
TEL：025-524-3913 FAX：025-524-2645 mail：takada@higashihonganjori.jp

発行：三条・高田 新教区準備委員会

第1号 さんじょうたかだ 新教区準備委員会 かわら版 2021年8月発行

かわら版

2年後の2023年7月1日の新潟教区発足に向けて、
新教区準備委員会が設置されました！

今後、本誌において協議の進捗状況を逐一お伝えしていきます。

第1回新教区準備委員会が高田教務所で開催され、 正副委員長及び常任委員が選定されました！（8/20）

＜委員長＞ 青木 仁（三条教区/教区会議長）
＜副委員長＞ 尾崎秀行（高田教区/教区会議長）

＜常任委員＞
堀川秀道（三条教区/教区副議長）
田伏研二（三条教区/教区門徒会長）
伊藤猛治（三条教区/教区門徒会副会長）
関根正隆（三条教区/参事会員）
山宮修憲（三条教区/参事会員）
澤 辰雄（三条教区/門徒会常任委員）
松尾正行（三条教区/門徒会常任委員）

藤原 哲（高田教区/教区副議長）
五味川千秋（高田教区/教区門徒会長）
平野 宏（高田教区/教区門徒会副会長）
森 恵成（高田教区/参事会員）
岩崎 修（高田教区/参事会員）
村松哲夫（高田教区/門徒会常任委員）

＜委 員＞
吉藤廣慶（三条教区/参事会員）
北島栄誠（三条教区/参事会員）
関崎幸孝（三条教区/参事会員）
石川 満（三条教区/参事会員）
松本雅裕（三条教区/参事会員）
江口信義（三条教区/門徒会常任委員）
佐藤 寛（三条教区/門徒会常任委員）
西野 登（三条教区/門徒会常任委員）
関矢 隆（三条教区/門徒会常任委員）
奥田富子（三条教区/門徒会常任委員）

渡邊蘭壽（高田教区/参事会員）
楠田昌樹（高田教区/参事会員）
内山順恵（高田教区/参事会員）
関 英隆（高田教区/参事会員）
井上一英（高田教区/参事会員）
長崎信子（高田教区/門徒会常任委員）
松井俊一（高田教区/門徒会常任委員）
岸波敏夫（高田教区/門徒会常任委員）
阿部利秀（高田教区/門徒会常任委員）
田中栄一（高田教区/門徒会常任委員）
酒井敏子（高田教区/門徒会常任委員）

両教区内の皆様からもたくさんのご意見をいただきながら、新潟教区発足に向けて上記新教区準備委員会委員を中心に協議を進めていきます！

発行：三条・高田 新教区準備委員会

第2号 さんじょうたかだ 新教区準備委員会 かわら版 2021年12月発行

かわら版

教区改編に関する各事項の具体的な協議が本格的にスタート！

新教区準備委員会に設置された教化・財務・組織の各小委員会が順次開催され、委託された項目について協議を進めております！
来たる2022年1月14日には常任委員会を開催し、小委員会の進捗を共有し、更に詳細を進めます。

教化小委員会

第1回 日時：9/27（月）会場：三条教務所
第2回 日時：10/28（木）会場：高田教務所

新教区教化像検討へ向けた意見聴取開始！

第1回教化小委員会（9/27）が開催され、今後の取り組みスケジュールが検討されました。その結果、各教区教化委員会、関係諸団体、組等からご意見をいただき、2022年2月頃までに新教区の教化素案（新教化委員会体制等）策定を目指すこととなりました。
上記組織に限らず、教区内の御一人でも多くの方からお声をいただき、素案検討に入っていきたいと考えております。ぜひ下記の連絡先を活用いただき、ご意見・ご要望をお寄せください。

寺院活性化支援室の説明を聞きました

第2回教化小委員会（10/28）にて、説明員として本山担当職員を招聘し、新教区準備委員会常任委員を交え、寺院活性化支援室の説明を聞きました。
今後も新教区準備委員会にて継続的に説明を受けつつ、支援室設置に関する協議が行われる見込みです。

教区改編に関するご意見をお聞かせください。

どんな些細な事でも結構です。
ぜひ、皆さんの声を新教区準備委員会にお届けください。
※ご意見はFAX・メールの他、QRコードをスマホのカメラで読み取りお寄せください→

改編に関するお問い合わせは
三条教務所：三条市本町2丁目1-57 TEL：0256-33-2805 FAX：0256-33-2847
mail：sanjo@higashihonganjori.jp
高田教務所：上越市寺町2丁目24-4 TEL：025-524-3913 FAX：025-524-2645
mail：takada@higashihonganjori.jp

発行：三条・高田 新教区準備委員会

第2号 さんじょうたかだ 新教区準備委員会 かわら版 2021年12月発行

財務小委員会

第1回 日時：9/21（火）会場：三条教務所
第2回 日時：10/20（水）会場：新井別院
第3回 日時：11/15（月）会場：三条教務所

財務小委員会の主な協議事項である6項目から、特に以下の3点について優先して協議を進めています。

- ①教区独自の門徒戸数調査については、実施要項や調査票（報告書）の内容について、現三条・高田教区の調査内容の違いを勘案しながら正確な数値が記入される内容とするために議論を重ね小委員会案を策定。
- ②御依頼割当基準については、特に本山経常費について、コロナウイルスの影響による特別減額がなされる以前の2019年度本山経常費御依頼額を基準に試算を行い、新教区の割当基準案を定めることとしました。なお、教区費は本山行財政改革の進捗状況も注視し、必要な金額を算定しながら今後試算していくことが確認されました。
- ③特別会計や積立金の扱いについては、各会計の設置目的や使用用途、金額の多寡を確認しながら、そのまま新教区へ継承するもの、一度現教区で協議を要するものなど選別を行いながら、現在精査中です。

上記事項を第4回会議（12/9）で確認し、常任委員会へ報告・提案予定。

組織小委員会

第1回 日時：9/21（火）会場：三条教務所
第2回 日時：10/26（火）会場：高田教務所

当小委員会に委託された主な協議事項の進捗は下記の通りです。

旧教区規程の改正については「まずは大きく①両教区に同趣旨の法規があるもの」と②片方の教区にしか法規がないもの」に仕分けし、各法規それぞれ「改正」「廃止」「新規設定」について検討中です。

諸会議の組織・運営について

教区会…委員会審議の持ち方、通常会期、参事会員選定方法など協議中。
教区門徒会…会員定数は教区同数（49人）とし、各組門徒会に振り分ける会員の選定人数については現在協議中です。

真宗学院（三条・高田2学舎）の継続運営について

新潟真宗学院の設置に向けて、現在は三条・高田両真宗学院の指導会議及び運営委員会等で今後の運営の方向性について意見聴取を行っています。

別院に関する協議の場について

3別院合同協議会を開催する前段階として、各別院へ聞き取り項目を示して協議・検討を依頼しました。

組の名称について

新教区発足後も現行名称の承継が前提とされていますが、同名の組がありますので重複しないよう方向性を定める必要があるため、該当組組長（両教区第11・12・13組）へ組内の意見集約を依頼しております（2022/01/14締切）。提出された意見をもとに、組織小委員会で協議を進めてまいります。

発行：三条・高田 新教区準備委員会

* 常任委員会で確認された方向性に基づき協議を進める事項について

【組織小委員会】

- ①新教区ホームページへの寺院情報掲載について
②新教区役職者の選定について
③教区監事について
④宗議会議員選挙条例等の改正について

【財務小委員会】

- ①未納寺院に対する願事停止の申し合わせ事項について
②三条・高田教区 門徒戸数調査について

【教化小委員会】

- ①寺院活性化支援室の設置について (今後の流れの確認)
②教化素案作成にあたっての予算規模 (目安)
③教化関連団体の運営方針について

教区改編に関するご意見をお聞かせください。
どんな些細な事でも結構です。
ぜひ、皆さんの声を新教区準備委員会にお届けください。

改編に関するお問い合わせはこちらまで
三条教務所：三条市本町2丁目1-57 TEL：0256-33-2805 FAX：0256-33-2847
高田教務所：上越市寺町2丁目24-4 TEL：025-524-3913 FAX：025-524-2645

第03号 2022.01 かわら版 拡大版

1/14に常任委員会を開催し、これまでの各小委員会協議の進捗状況を確認するとともに、協議項目の課題を共有しました。
今号のかわら版は拡大号としてお届けし、これまでの協議内容と課題を両教区の皆様と共有することで、今後の協議に向けてたくさんのご意見をいただきたいと思います。

組織小委員会報告

- 組の名称について
別院に関する協議の場について
真宗学院(2学舎)の継続運営について
旧教区規程の改正
諸会議の組織・運営
財務・教化小委員会の協議に基づき、今後、法規制定等の作業を進める事項

発行：三条・高田 新教区準備委員会

財務小委員会報告

- 財務小委員会に付託された事項について継続協議中です。現時点での方針を以下の通りお知らせします。
1 教区独自の門徒戸数調査…調査票の作成、スケジュール策定
2 本山経常費・教区費等の割当基準…門徒戸数調査結果に応じた割当基準の作成
3 旧教区における特別会計・積立金の扱い…特別会計・積立金の精査
4 各種教化助成金…組織教化助成金、所属団体助成金等
5 特別会計・積立金会計にかかる諸規則について…各会計にかかる諸規則の作成 (共済制度など)
6 新教区における予算

教化小委員会報告

- 第2号でお知らせの通り、昨年10月から12月にかけて教化小委員会では三条・高田両教区の教化小委員会や各組、教化関連団体(坊守会や推進員連絡協議会等)、教学研究機関(三条教区教化センター、聞思学場)らに対して、新教区への要望や希望する運営形態について聞き取りを行ってきました(右記写真①：坊守会の様子)。
1 聞き取った声をも可能な限り反映させ、素案を検討する。
2 新教区での教化関係団体の運営にあたっては、当事者での自主的な運営を原則とし、必要な経費は助成していただく。
3 寺院活性化支援室については、継続して新教区準備委員会(常任委員会)において協議が進められる。
4 宗派の行政改革によって交付金制度等の見直しが進められており、現時点において明確な予算規模を算出することは不可能である。しかし検討を進めなくてはならないので、現在の両教区の教化費の合算額を上限目安として素案を検討する。
5 素案完成後、各小委員会と意見交換を行いつつ、関係組織に対して再度意見聴取を実施していく。
6 教化団体、助成金等も含んだ上で可能な限り具体的な素案を作る。
※1 添付資料「新教区へ向けた第1回意見聴取」とりまとめ
教化小委員会では各教区の意見を認めるためにまとめた資料を元に、全寺院向けに個人名や組名などを伏せるなど一部編集したものです。
教化小委員会主催の交代について 第3回教化小委員会(12/23開催)にて、北條親宗前主査(高田教区第6組担任者)より、一身上の都合により後職を辞したいという申し出があり、教化小委員会としてはその旨を了承しました。お後任については、森恵氏(高田教区第8組兼功寺)が教化小委員会において互選され、新主査にご就任いただいております。

新潟教区発足までの今後のスケジュール ※予定は変更になる場合があります。





教区ホームページ運動企画「響流」～WEB版～

ネットDE 仏教



お寺の事務で欠かせないものが毎年の会計処理です。手作業ではなかなか大変なものです。パソコンを利用すれば効率がアップします。今回は事務処理に必須な表計算ソフトウェアである「EXCEL (エクセル)」について解説します。

今回の記事

第6回 EXCEL活用術！(1)

〈高田教区ホームページアドレス ⇒ <http://takada-kyoku.jp>〉



響流川柳

さあ ひごろのうっ憤を
川柳を作り
晴らしてみよう。

いかがでしょう。

- ・沙汰閣 願う議員の 文通費
- ・昼ランチ 塩鮭汁に 舌鼓
- ・肥ったね 上着一枚 脱ぎ捨てる
- ・軒下で 早く食べてよ せがむ鮭
- ・達磨型 雪灯籠の 似たりかな
- ・ヒヨドリに 林檎半分 お裾分け
- ・金になる 口利き続き バレバレだ
- ・オミクロン 玄関先で たむろする
- ペンネーム 貧者の一灯
- ペンネーム 米山入道雲
- ペンネーム 肥満熟女
- ペンネーム 村上流師範
- ペンネーム かわうら葵
- ペンネーム かわうら葵
- ペンネーム 金平糖信者
- ペンネーム 宏
- ペンネーム 富

こもれび

平成の最後の年。お正月明け早々、白内障の手術をした。当日部屋に用意された車イスで手術室へ。洗眼から始まり、二十分程で手術は終了。

翌日、眼帯を外され、院長がライトで具合を確認。確認を続けながら「眼帯を外されて、すぐ見える方もいれば、一週間あるいは、十日間くらいかかって視力が出てくる方もおられます。ですから、決して、見え方をお互いで比べないで下さい」と。

家に戻って数日後、ほんやりと雪景色を眺めていると、不意に「決して比べないで下さい」と繰り返す院長の言葉が脳裏によみがえった。「はて、自分はこれまでの人生で、どれだけ沢山の人と比べられてきたものだろう」

言葉では、いともたやすく「比べてはいけない。それぞれの個性を大切に」と現に云っている。だが、口とは脳裏に心を照射するガイガーカウンタは我が意思を超え、鳴り続けている。(松野)

みなさまの声をお聞かせください

「響流」に対するご意見、ご要望をお寄せください。また、各コーナーにご応募お待ちしております。または下記メールアドレスにて受け付けております。

より多くの方に手に取っていただける教区報にするために皆様のご協力をお待ちしております。

高田教務所(響流担当宛)
takada@higashihonganji.or.jp